

「抜け駆けせずに」

大ト協海コン部会 部会長強調

大ト協海上コンテナ部会(山口与嗣雄部会長)は6月21日、神戸市東灘区の神戸ベイシートンホテル＆タワーズで通常総会を開き、事業報告と決算事業計画と予算などを原案通り承認・可決した。

山口部会長(近畿木材運輸)は冒頭のあいさつで、間近に迫ったG20大阪サミット開催に伴う交通規制に触れ、「警備に当たる警察は空港も開けて点検する方針で、大変な混乱も予想される」と危惧する一方、労働時間の規制強化や労働力不足などを取り上げ、「政府も指定道路での特殊車両通行許可不要などの対策を進めているが、

た。



大ト協海コン部会の通常総会

向上が求められている時代に、道路を車庫代わりに使う者もあり、部会はこうした違法行為に法的な措置で対応していく考えだ」と強調、改正貨物自動車運賃適正化の追い風も吹いている。抜け駆けせずに団結してやっていこう」と呼びかけた。事業報告によるところ、「平成30年度は輸送秩序確立やコンテナヤード前の滞留解消対策に取り組み、夜間パトロールなど事故防止対策も実施した。決算は収入1203万円、支出586万円で、差し引き616万円を次期に繰り越した。

2019年度も前年度事業を踏襲し、輸送秩序、事故防止対策などを進める。予算は117万円。

輸送需要はあっても輸送力がないという事態も今後考えられる」と業界を取り巻く環境の厳しさを指摘した。

さらに同部会長は「コンプライアンスの